

SSKS

2023. 6月号

No. 551

# せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



## 企業にも通用する力を養う



【自分たちでとりくみ、場所が変わっても身についた力を発揮します。】

「チャレンジャーを訪れると、皆さん気持ちの良い挨拶をしてくれますね。」  
来所される方の多くからそのような感想を聞きます。

練習したわけでもなく、職員が促すわけでもなくそれぞれが自然に挨拶する姿があります。それはおそらく、働くことに誇りを持っているからかもしれません。“ようこそ来ていただきました！この姿を見てください”という気持ちがあふれ出ているかのように。

ここで身につけるのは『働く力』だけではありません。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



## ニーズ把握と意思決定のサポートで、その方の目指す働き方を実現していく

### ～チャレンジャーから一般就労を果たした神田さんのケース～

このたび、障害者雇用促進法の改正にともなって、民間企業等における障害者法定雇用率が引き上げられることが決まりました（現行の民間企業における法定雇用率は2.3%）。2024年度（令和6年度）には2.5%、2026年度（令和8年度）には2.7%と段階的な引き上げが予定されています。企業等では、すでにその動きを見越した採用活動が活発に進められており、今後ますます障害者雇用における求人ニーズは高くなっていくことは間違いありません。

日々、障害のある人の「はたらく」を支える私たち支援者には、こうした社会の要請にもしっかりと応えていく必要があると考えます。身につけた力を企業の中でも発揮して働くことのできる人を一人でも多く輩出していく、そのためには職業準備性を高めていくための具体的な支援方法を身につけていくことだけではなく、「どのように働きたいか」という個々のニーズをしっかりと受け止め、その意思決定をサポートしていこうとする姿勢を忘れてはならないと考えます。

### 事業所間連携と家族による意思決定サポートで、企業就労を後押し！

神田さんは高等部を卒業した2015年、チャレンジャーへ入所しました。「就職していく先輩たちを見て、いつか自分も就職したいと思っていた。」そんな神田さんはチャレンジャー職員からの勧めで、武蔵野市障害者就労支援センターあいる（以下“あいる”）に登録し、何社かの面接、そして企業実習を経て、2022年11月に都内の大手企業特例子会社に事務補助職としてみごとに就職を果たしました。

現在、神田さんは、ノベルティ商品の袋詰め業務などに従事しており、毎日楽しく出勤しています。

神田さんの就業上の強みは、抜群の集中力（継続して仕事をする力）と、周囲の人や職場環境からの影響を受けにくい安定感です。

雇用前実習でこの2点が会社のご担当者から高い評価を受けたとき、私はハッとしました。チャレンジャー時代の毎日を通じて、企業にも通用する力を神田さんが養ってきたことを実感したからです。

交通機関の利用が得意だったことで、通勤に関する課題がほとんどなかったことも、良いご縁を引き寄せた要因の一つでした。



【毎日ビシッとスーツの神田さん。オフィス内の一枚】

神田さんの意思決定を支えた一番大きな力は、ご家族でした。不安な気持ちがありながらも、「就職したい!」という本人の希望を尊重し、その背中を強く押したこと、私はとても印象に残っています。

私が今のご本人から強く感じることは、企業就労している自分をとても誇らしく思っているということです。もちろん働き方は人それぞれで、企業就労だけがゴールだとは考えません。しかし、神田さんがチャレンジャー時代、就職をしたいというニーズを持ち続け、そのチャンスが訪れることを信じて待ち望んでいたことを思うと、その真剣な気持ちに気がつくことができたことに胸を撫でおろしたくなります。ご家族による力強い意思決定のサポートがあったことは前述のとおりですが、チャレンジャーからあいるへ支援のバトンをつなぎ、神田さんが望む働き方を実現しようとしたここにこそ、事業所間連携の成果があったと考えます。

しかし、良いことばかりではありません。「職場でのルール・マナー」は少し課題が見えてきましたね・・・油断しないよう、これからもあの時の志を忘れずに頑張りましょう、神田さん！

（文責：武蔵野市障害者就労支援センターあいる 山岡 誉）

## 一般就労までの7年間

特別支援学校を卒業し、2015年にチャレンジャーに入所した神田さん。入所当時は、環境が大きく変化したことで、戸惑いや緊張もあってか、なかなか自分から挨拶ができず、また周りが気になり、職員の話をしっかり聞くことができていなかった印象があります。そのため、まずは自分から挨拶ができるようになる、また人の話を聞くことができるようになる、そのようなことからスタートしました。職員と挨拶のタイミングを確認する、職員に言われたことが正確にできているか確認をする、これを毎日くりかえすことで、少しずつ、できるようになっていきました。

チャレンジャーでの仕事に慣れてきたころ、施設外就労に参加することが決まりました。施設外就労では、毎月8日間ほど職員2名、利用者10名で、埼玉県新座市にある会社まで出張し、会社の作業場の一角をお借りしてテキストの封入封緘作業をおこなっています。少ない人数で、期間内に仕事を終わらせていくため、職員の指示を聞き、一人ひとりが自分から動かなくてはなりません。今後のことも考え、神田さんには場所や人が変わっても、変わらず働くことができるようになってほしい。より自主的に仕事にとりくめるようになってほしい。そんな職員の思いがあり、施設外就労に参加してもらうことになりました。そこで神田さんは、完成品を4つのパターンに仕分けする役割を与えられました。混在させることは許されません。その役割に対し、臆することなく“これは自分がやるんだ”という意識で、職員の指示をよく聞き、責任を持ってとりくんでいたと思います。

一般就労の話が出た時、本人はとても前向きな反応でした。はじめて面接を受けた企業が不採用になってしまった時、いつになく落ち込んでいたのを覚えています。しかし“一般就労をする”という気持ちに変化はなかったようで、次の企業で実習が決まった時も、「やります！」と迷うことなく、返事がありました。実習では課題もあげられました。それを本人に確認すると、しっかりと答えることができていました。その姿を見た時、入所当時の神田さんの姿からは想像もできなかったと感じました。

チャレンジャーでの7年間で身につけた、“働くことに対する姿勢”を、これからもさまざまな場面で発揮してもらえたらと思います。

（文責：チャレンジャー 木村 美佑）

## きょうされん夏季販売がはじまります

夏の風物詩として毎年楽しみにしている方も多い、きょうされんの夏季販売。

今年もついにその季節がやってきました！！

この季節だけのおいしいお菓子や、アイテムを多数そろえています。

今年のおススメ商品の一部をご紹介します！

注文は6月中に受付を開始します。

### Mini Towel

【はたらくなかまのうた ミニタオルセット】



### SUMMER GOODS CATALOG



【金の冷麺・赤の冷麺詰め合わせセット】



【ひととえ 3層デザート・ジュレ/ワフェ】



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

#### < 生活介護事業所 >

◆ 千川作業所	〒180-0011	武蔵野市八幡町4-28-13	TEL 0422(55)3826
◆ ワークイン中町	〒180-0006	武蔵野市中町2-6-5	TEL 0422(27)7519
◆ ななほしワークス	〒180-0022	武蔵野市境2-11-3-101	TEL 0422(38)8083
< 就労支援事業所 >			
◆ チャレンジャー	〒180-0023	武蔵野市境南町4-20-5	TEL 0422(30)3010
◆ ワークイン関前	〒180-0014	武蔵野市関前3-41-16	TEL 0422(37)6266
◆ 武蔵境ワーキングセンター	〒180-0023	武蔵野市境南町3-10-1	TEL 0422(33)1708
◆ 八幡作業所	〒180-0011	武蔵野市八幡町4-5-5	TEL 0422(27)8390
◆ 武蔵野市障害者就労支援センターあいる	〒180-0023	武蔵野市境南町2-5-8-102	TEL 0422(26)1855

#### < ショートステイ/ミドルステイ/自立生活体験事業 >

◆ 桜はうす・今泉	〒180-0021	武蔵野市桜堤1-5-1	TEL 0422(54)1187
◆ 井の頭はうす	〒180-0003	武蔵野市吉祥寺南町4-21-17	TEL 0422(46)7707

#### < 児童発達支援事業 > < 放課後児童健全育成事業 > < 放課後等デイサービス事業 >

◆ 千川おひさま幼児教室	〒180-0011	武蔵野市八幡町4-28-13	TEL 0422(51)4008
◆ 千川さくらっこクラブ			
◆ 千川さくらんぼクラブ	〒180-0011	武蔵野市八幡町2-5-3 北ホール1階	TEL 080(5458)9175

#### < 共同生活援助（グループホーム） >

◆ 天の薔寮	◆ 第一桜寮	◆ 第二桜寮	◆ 境南葵寮	◆ 吉祥寺泉寮	◆ 関前上水寮
◆ 相談支援事業所 せんかわ					

< 発行人 > 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区福形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

< 編集人 > 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円